

SINAPIS



社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

月刊シナピスニュースレター

年間テーマ ～ 互いに耳を傾けよう ～

Vol.
80

2022.
クリスマス



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

カトリック大阪大司教区
社会活動センター・シナピス

TEL/06-6942-1784 FAX/06-6920-2203
Email/sinapis@osaka.catholic.jp
ホームページ/<https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

「平和の君の誕生を祝う」

今年も一年間
ありがとうございました。

～祈りと感謝を込めて

シナピススタッフ一同

シナピス運営委員から クリスマスメッセージ



正義と平和・難民移住移動者担当 シナピスセンター長 松浦謙神父
なみはや教会では、今年もベトナム人の青年たちが巨大な馬小屋を作ってくれました。

クリスマスツリーにトナカイと噴水。バックには旅する3人の東方の博士の壮大な絵と「地にはみこころにかなう人に平和」との文字があります。電飾も見事で通りがかりの人が写真を撮ったり、興味深そうに見入っています。先日、野良猫が、馬小屋の隣に鎮座しておりました。救い主の誕生を、こうやって近隣の人に知っていただけることに感謝です。

「あたたかな心で歩む一年に」

部落差別人権委員会担当 長崎壮神父

クリスマスにおいて飼葉桶に眠る幼子イエスのもとを訪れると、無垢で無力な幼子の姿を通して「人の命」は両親や周囲の人々の愛情と善意なしには育つことのできないということ、そして、命とはとてもデリケートなものであることに気づかされます。

これから始まる一年、私たちひとりひとりの心の中にある「あたたかさ」が幼子イエスによって呼び覚まされ、出会う人々との間で生かされますように。



カリタスジャパン担当 松永敦神父

いつも祈りと献金をありがとうございます。私はカリタスジャパンの大阪教区担当者として皆様からあすかった献金を、本当に必要とするグループに届ける使命を受けております。今年は宝塚を拠点として活動をはじめた、依存症からの回復を支えるグループを支援することができました。皆様には心から感謝申し上げるとともに、良き年をお迎えくださいますように、お祈り申し上げます。



船員司牧・こども基金担当 エリック・バウチスタ・デ・グスマン神父

主のご降誕のお慶びを申し上げます。

救い主であるイエスは、小さな幼子として、この世にお生まれになりました。「心を入れ替えてこどものようにならなければ、決して天の国に入ることはできない」と仰せになったキリストは、こどもたち一人ひとりに心をかけてくださっておられます。わたしたちも同じように、こどもたちとその権利を守り、幸せに至るまで愛さなければならなりません。今後とも、子ども基金よろしくお願い致します。

障がい者委員会担当 石井望神父

同封のクリスマスカードをもちまして、メッセージに代えさせていただきます。





守護の天使の姉妹修道会 去来川 久代

あるテゼの祈りの集いで♪私たちは暗闇にとどまることのないようにキリストは光として世に来られた♪(ヨハネ 12:46)と繰り返し歌いながら今年の黙想で自分の人生はどうだったか?神はどう見ておられたか?絵で人生をあらわし祈ったことを思い出しました。

苦しくて、くやしくてどん底に突き落とされた時期、主は共にいてくださることに気づかされた時の解放の喜びは今でも心にあります。“主のいつくしみは絶えることがなく、神のあわれみは尽きることがない、それは朝ごとに新たにされる”(エレミヤ哀歌 3:22)徹底的に貧しくされこの世に生れた主イエスは誰よりも私たちの苦しみ、悲しみ、寂しさ、くやしさを理解し寄り添ってくださっています。幼子イエスと共に一步を歩みだす時、希望の光が見えてきます。神はわたしたちとともにおられます。

社会活動神戸センター 木谷公士郎

私たちは主のご降誕をグレゴリオ暦の 12 月 25 日にお祝いしますが、多くの東方正教会・東方諸教会はユリウス暦の 12 月 25 日にお祝いするそうです。さらにアルメニア使徒教会は 1 月 6 日に、そしてエルサレムのアルメニア教会はユリウス暦の 1 月 6 日にクリスマスが祝われるそうですね。非道な戦争、圧政と抑圧、貧困と苦しみの最中にあるこの時代の中で、地球のどこかでクリスマスが祝われている間だけでも安らぎと平和が分かち合われるようにと祈ります。主のご降誕おめでとうございます。



カトリック堺教会信徒 梶原隆憲

部落差別の学習会に参加しました。今のネット社会では、いわゆる(寝た子を起こす)現象が起きているそうです。部落の地名を閲覧、同和地区の街並みの動画紹介。また、朝鮮人に対するヘイトスピーチも。LGBT も含め差別が何故起きるのか・・・

もし、私が部落の出身だったら、或いは、朝鮮人として生まれていたら、LGBT 者だったら・・・この立場ならヘイトはしないだろう・・・どうしたらその立場に立てるのか・・・

単純ではありますが刑法による罰を設けるべきでは。無意識なる差別に気付くのと違法判決。ヘイトで差別を受けた部落の人は言っていました。「応援に集まったカウンターの数遙かに多く救われた」と。

苦しみ・悲しみの環境にいる人の権利を回復する事、それがキリスト信仰の道で原点だと思っている。





カトリック夙川教会信徒 西口信幸

教会が「野戦病院」となるよう提唱された教皇フランシスコが来日されて三年、コロナ・パンデミックは改めてその意味を知る時と与えてくれました。主の降臨を待ち望む待降節、「主の道を整えよ」という声に聴いて、教会の社会活動グループとシナピスが一つになり、歩むべき道を「識別」し、目の前の隣人の声を「聴き」、今できることに「参加する」カトリック共同体となりますように、希望の光に満ちた降誕祭を迎えることができますよう、お祈りいたします。

カトリック垂水教会信徒 野村季里

クリスマスおめでとうございます。

2022 年も 2 か月が過ぎようとしていたころロシアによるウクライナ侵攻という信じられない出来事が起こってしまいました。

ニュース映像では小さな子どもの手を引き徒歩で避難する親子が映し出されていました。家族とはぐれてしまったのか泣きながら歩く男の子、シェルターで死にたくない泣く男の子、避難先でみんなを励まそうと歌う女の子の姿が頭から離れません。戦争がもたらす悲しみを目の当たりにして大きな衝撃を受けました。

あれから 10 か月、未だ終わりは見えませんが世界中の子どもたちの未来にイエス様の愛と平和が豊かにありますようにお祈りいたします。



カトリック阿倍野教会信徒 嶋田至

「対話と愛とは、血と身体のように切り離せないものである。血の流れが止まれば身体は死ぬ。同様に対話が止まれば愛は死に、恨みと憎しみが生まれる。しかし、対話は死んだ関係を回復させることができる」米国の神学者 R.L.ハウの言葉です。コロナ禍は私たちの間に、対立や反目を増幅させたように思います。いま私たちは対話を始めることが求められています。キリストのように、仲間との交わりの中で、また新たに出会う人々とともに。

カトリック六甲教会信徒 宮内 陽子

私は無力です。より善い世の中を目指し、勉強し集会やデモに行き、署名、交渉、投書してきました。今、そんな小さな取り組みなど蹴散らして、世の中はどんどん恐ろしい方向に向かっていくような気がします。でもこの季節、十字架の死を迎えるために、飼いや葉桶の中に産声をあげた無力なおさなごが世の光となった恵みを思うと、まだまだ諦めてはいられないと勇気づけられます。皆さまにも、クリスマスの恵みが豊かにありますように。



シナピススタッフから クリスマスメッセージ



ビスカルド篤子

あるアフガニスタン人が大声で電話してきました。「防衛費 43 兆円、何考える！ダメダメ！そのお金で介護士保育士の給料上げて。他の国に病院と学校造って、握手するする！カトリック教会さん、もっと大きな声出さないとダメ！」ドキッとしました。救い主が来てくれた、だから私たちは天を仰いでただ喜んでいればいい、と勘違いしそうなこの時期に、難民の人が喝をいれてくれました。救い主を信じる私たちはもっと平和を叫ばないと。

原慶子

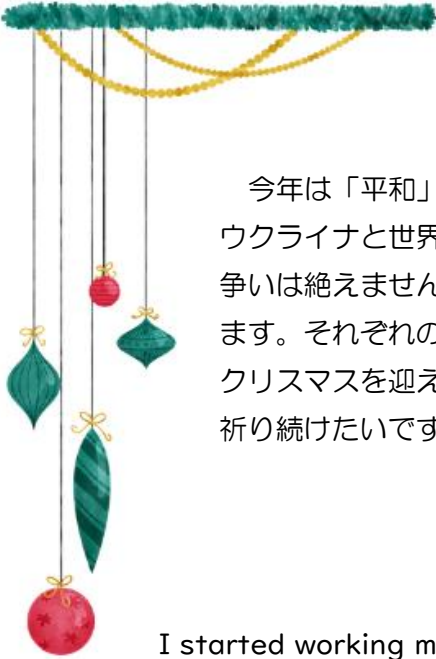
「戦争は人間の仕業です」（教皇ヨハネ・パウロ二世）を今年も痛感しました。12月の過去の歴史を振り返ると、戦争をしていない日はありません。そして今もなお、銃や武器を持たざるを得ない状況に追い込まれ、命からがら逃れてきた人たちがこの日本に助けを求めやってこられます。美しいイルミネーションで飾られた街中で、そのような背景を持ったひとと、私たちは出会っているかもしれません。それを意識しながら、「二度と繰り返さない」決意をあらたにこのクリスマスを過ごしたいと思います。

山田直保子

クリスマスおめでとうございます。

この一年も病と向き合わざる得ない日々でした。生きてる限り試練を与え続ける神様は私に何を伝えたいのだろうと常に自問自答する毎日ですが、どんな時も難民移住者はいつも笑顔で接してくれます。重大な状況な時でもちょっとした冗談で笑う。いつも当事者たちに学ばされています。救い主の誕生を笑顔で祝いましょう。どうぞ皆様の上にたくさんの笑顔と幸せが降りますように。





シナピス事務局 右知子

今年は「平和」について考える一年になりました。ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナと世界では戦争や内戦、紛争が絶えません。私たちの身の回りでも小さな争いは絶えません。そんな時、私はいつも「人の心に平和が訪れますように」と祈ります。それぞれの心に「平和」があれば大きな問題に発展しないと思うからです。クリスマスを迎える今、争いの中にある人にも心の平安がひと時でも感じられるよう、祈り続けたいです。

AZIZI ROQIA (アジジ・ロキア)

I started working middle of this year as a sinapis staff.

I am proud to be an employee in such an organization, whose purpose is to serve the needy people and save their lives, me and my family are the ones who were able to survive with the help of sinapis, it is the first Christmas that we are celebrating in Japan,

We are all so excited especially my sons, for celebrating.

I wish a great Christmas full of joy, away from sadness to all of respected: sinapis staff, members being always as a supporter, I thank you from the bottom of my heart and wish you happiness. May you have the gift of faith, the blessing of hope, and the peace of his love at Christmas and always. Regards and love.

今年の半ばからシナピススタッフとして働き始めました。

苦しんでいる人々のいのちを助けるシナピスで仕事が出来てとても誇りに思っています。私たち家族もまたシナピスの助けで生き延びる事ができました。そして日本で初めてのクリスマスを迎えます。特に息子はとても楽しみにしています。

悲しみを忘れ喜びに満ち溢れたクリスマスがシナピススタッフ、いつも応援してくださっている皆様に訪れることを願います。皆様に心から感謝し幸せを願っています。

クリスマスに、そしていつも、信仰の賜物、希望の祝福、そして彼の愛の平和を得ることが出来ますように。愛をこめて。



越年越冬のお知らせ 釜ヶ崎&神戸

◆◆釜ヶ崎より◆◆

コロナ禍とウクライナ戦争、急激な円安ドル高に翻弄された 2022 年、世界が不安定な中で日本社会でも政党と旧統一教会の癒着やが暴き出されました。一部財界・政治家の利権のために 2025 年開催予定の大阪万博はカジノに反対する住民投票を求める民意も無視して進められています。釜ヶ崎でセンターの建て替え問題は進まないまま、野宿せざるを得ない日雇い労働者や、高齢者、非正規雇用労働者でも女性や子どもを抱えたひとり親家庭の方が求職できるような施設を目指すために、大阪府市への働きかけが続いています。

こうした状況の中で今年も越冬闘争は行われます。私たちは「釜ヶ崎へ行けば何とかなる」という思いに応え続けてきたこの街の良さ(多くの人たちの想い)＝「伝統」を守ることによって、今この街に暮らすなかまとともにこれからも流れ着くであろうなかまたちを守っていきたいとおもいます。今年の越冬闘争も目の前で仲間たちが餓死・凍死するのを防ぐとともにこの街がすべての個人一人ひとりにとってやさしく住みやすい街となるように人権と平和を求めてそれに反するような行政施策、国の政治を見据えながらなかまたちの団結を創り出し、声をあげていく越冬闘争になるよう願っています。

三角公園にて開催します。

- 突入集会 12月28日(水) 18時00分
- 炊き出し 12月28日(水)～1月3日(火)
- 医療パトロール 12月28日(水)～1月3日(火) 集合21時45分
- 人民パトロール 12月30日(金)～1月3日(火) 出発20時
- 餅つき大会 1月2日(月) 9時～
- ステージ上の企画 のど自慢、アピールなど

*コロナ感染拡大の状況によって急遽変更することがありますので、ご了承ください。

◆◆カトリック社会活動神戸センターより◆◆

第28回越年・越冬を下記の日程で行います。今回もコロナ禍の中、感染症対策に注意を払いながら取り組みを進めていきます。ボランティア参加ご希望の方は事前に当センターまでご連絡ください(078-271-3248)。

(神戸)2022年12月28日(水)～2023年1月4日(水)

時間：午前10:00～午後2:30頃 (テントの設営、炊き出しの準備等)

場所：東遊園地花時計広場(神戸市役所南端)

(尼崎)2023年1月7日(土)～2023年1月9日(月)

時間：午前10:00～午後2:00頃 (テントの設営、炊き出しの準備等)

場所：尼崎・橋公園(尼崎市役所東)

主催：越冬越年実行委員会

内容：「炊き出し」「生活相談」「医療相談」「法律相談(弁護士・司法書士)」

「追悼の日」(12/29 予定)

※カンパもよろしくお願いいたします(「越年越冬のために」とお書き添えください)。

郵便振替 00910-5-141408(カトリック社会活動神戸センター)

「外国ルーツの子どもを支援する会」から 署名活動への御礼と報告、そしてこれから！

「在留特別許可を求める子どもと歩む会」
土器屋香代子

「外国ルーツの子どもの在留資格を求める署名」（11月末期限）で、3000筆（12月4日現在）をいただきました。多くの皆様のご協力に心より感謝いたします。いただいた署名は、当事者である二人の証言活動、そして大阪教区シナピスのネットワーク、小教区の社会活動委員会の働きであり、「識別し、聴き、参加するシノドス共同体」を目指す教会の一つの歩みとなったと思います。

在留資格のない両親のもとで生まれ育ったために、基本的人権がすべて奪われている外国ルーツのMさんの声を聴いた日本のカトリック司教団は、「日本を故郷と思っている子どもたちとその家族を追い出さないでください。一人でも多くの人に在留特別許可を与えてください」と2022年3月に法務大臣宛の要望書を発表し、8月に17人の司教全員がYouTubeでメッセージを出して、オンライン嘆願署名キャンペーンを開始されました。

この司教団の動きに合わせて、7月2日に阪神地区・夙川教会有志で「日本生まれで外国籍の子どもの『声』を聴く会」を開催し、「もっと多くの方に知っていただき、共に考えよう」と、9月23日に「学習会」を開催しました。当事者のMさん（大学3回生）と弟のSさん（大学1回生）は、「日本で働き、貢献したいので、在留特別許可を与えてください。この現実を多くの方に知っていただきたい」と訴え、裁判で一家を支えてこられた空野佳弘弁護士からは「入国管理法が改悪されないためには、この動きを止めないことが大切」という講演をいただきました。司教団のビデオメッセージも放映して、より広く署名活動をしていただくよう参加者にお願しました。

10月26日の大阪教区司祭月修では、小教区や修道院での署名活動と当事者の声を聴く機会を作っていたきたいとお願いしたところ、大阪教区内のみならず全国、また海外からも応援のメッセージと共に多くの署名を送っていただきました。いくつかの小教区で「当事者の声を聴く会」を開催する動きも出ています。これからもいろいろな機会を使って、「聴く会」をご検討ください。

皆さまからの力強い応援をいただき、12月3日に「在留特別許可を求める子どもと歩む会—ぬくもり」を設立することができました。（この「ぬくもり」は、公募の中から選ばせていただきました。）

日本で生まれ育ちながら、在留資格を持っていない子ども・学生が在留特別許可を得るまでの間、支援活動を行い、外国ルーツの子どもの人権の確保に寄与することを目的とします。継続的に活動されているJ-CaRM（日本カトリック難民移住移動者委員会）やシナピスの助言と応援をいただきながら、彼らの人権を守る社会にしていけるための支援活動を実施します。その一つとして、彼らのための奨学基金を設立いたします。今後は、基金と活動資金のための募金活動も行いますので、ご協力をお願いいたします。

司教団のオンライン署名は2023年1月末まで行う予定です。当事者を招いた「小さな学習会」と並行して、紙署名（第二次集約）にもご協力いただきたいと思います。

「仮放免」の人は、要請に応じて定期的に入国管理庁に出向く義務があります。同行者がいることで彼らへの対応が異なり、心の負担が軽減するそうです。

そのような「入管への同行ボランティア」も歓迎いたします。

今後も、日本の人権意識の向上のためにも、この活動へのご協力をお願いいたします。



集まった署名用紙の一部

「在留特別許可を求める子どもと歩む会」連絡先: 090-3943-4416 (西口 信幸)

シナピスカフェ

★毎週水曜日 13時ごろ～16時ごろ

1月の開催：18日、25日

★月1回土曜日 11時ごろ～16時ごろ

1月は**お休み**します。

シナピスホーム：生野区中川6丁目6-23

☎：080-8940-8847



2021年正義と平和大阪大会 分科会録画(動画)限定公開！！

大会で開催された分科会の録画(動画)を編集したものを限定公開します。著作権に抵触する部分や個人情報保護に抵触する部分は削除・編集しています。その他も準備完了後、順次公開をしていきます。

教会のグループ学習等でご利用ください。

視聴方法や申し込みはこちら ▶▶▶



カトリック大阪教区ホームページ内「正義と平和大阪大会」をクリックしてください。

◆公開中の分科会◆

- 1:あなたへ繋げたい 平和の誓い～出生地門真市から憲法9条発案者 幣原喜重郎を伝える～
 - 3:沖縄の米軍基地を考える
 - 5:教会とエイズ・コロナ・LGBT
 - 6:教会内のハラスメントはなぜ起きつづけるのかー小さな気づきから大きな一歩へー
 - 7:心の病と共に働き祈る
 - 8:日本に逃げてきてくれた難民たちと福音を生きる
 - 9:写真展 闇から光へ 知られざる沖縄戦後史～精神保健の歩みを見る・聴く
 - 10:人権問題から見た福島第一原発事故 子ども脱被ばく裁判を通して
 - 11:子どもの貧困「西成高校の取り組み」
 - 12:ゴジラから見た正義と平和
 - 14:【社会の底辺に置かれた人々が生きる釜ヶ崎】の現状に学ぶ
 - 15:知っていましたか？いま地層処分してはいけない8つの理由
 - 20:みんなの政治、みんなが政治、社会をすてきにするために
 - 21:よりそいのヒント
 - 22:日本の労働者
 - 26:「拉致」を知り、共に祈る
 - 29:地球を大切にするにはどうすればいいか？
 - 30:子どもたちを誰一人取り残さない
- 特別プログラム:みんな地球人 外国にルーツのある人・青年・子どもプログラム

今月のページ

ニュースレター 目次

- ・クリスマスメッセージ
- ・越年越冬のお知らせ
- ・「外国ルーツの子どもを支援する会」から
署名活動への御礼と報告、そしてこれから！
- ・ご支援くださった皆様
- ・お知らせ
- ・あとがき

チラシ・ご案内

- ・カトリック時報 12月号
- ・わたしたちもできる
メッセージハガキで訴えよう
- ・こども基金「こどもの権利を知る」キャンペーン
- ・日本カトリック司教団
在留特別許可嘆願署名キャンペーン
- ・みんな集まれ、平和を求めろひと！
～今こそ大切な平和憲法～
- ・「ワタシタチハ ニンゲンダ」自主上映のご案内
- ・クリスマスカード



ニュースレター配布停止ご希望の方は
シナピスまでお知らせください。

今年も一年間ありがとうございました。
また、新年もどうぞよろしくお願ひいたします。

—シナピス休業と始業のお知らせ—

休 12月24日(土)～1月4日(水)
始 1月5日(木)

※なお、1月10日(月)は職員研修のため、
事務所は閉鎖します。

▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆広報活動

- ・教皇メッセージ、司教団メッセージ等
社会活動の指針の伝達
- ・読者と教会内外の社会活動をつなぐ
機関誌としてシナピスニュースを発行

◆大阪教区・社会活動委員会との連携

◆学習会研修会の企画

◆こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

◆カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、
カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への 働きかけ

◆難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22
カトリック大阪大司教区事務局内



●公共交通機関ご利用の場合

- JR 森ノ宮駅より 約1000m
- 地下鉄中央線森ノ宮2番出口より 約800m
- JR 玉造駅より 約1000m
- 地下鉄長堀鶴見緑地線玉造1番出口より約800m

●車でお越しの場合

- 阪神高速13号東大阪線法円坂出口
法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがひします

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス